

令和3年度がスタートしました。新1年生のみなさんは中学校への入学、新2、3年生のみなさんは進級おめでとうございます。新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るっている中、いろいろと大変なこともあります。負けずに中学校生活を充実させていきましょう。

さて、中学校では、キャリア教育（進路の学習）が3年間を通して行われています。進路の学習は、自分の個性を理解し、主体的に進路を選択する資質・能力を身に付けるための学習であり、中学校では入学当初から計画的に実施しています。中学校卒業後の進路の選択に当たっては、将来を見据え、自分の興味・関心や適性等を重視することが大切になります。自分自身を見つめ、自分と社会の関わりを考え、将来、様々な生き方や進路の選択の可能性があることを理解するとともに、自らの意思と責任で自己の生き方や進路を選択できるように学習を進めていきます。キャリア教育通信「compass」では、進路学習に必要な情報を発信し、進路選択のコンパス（羅針盤）としての役割を果たしたいと考えていますので、生徒のみなさんはもちろん、保護者のみなさまも、ぜひご一読いただければと思います。



《中学生活でさらに伸ばしてほしい4つの力》

【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

【キャリアプランニング能力】

「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

保護者のみなさまへ

中学校で行われるキャリア教育（進路の学習）は、学校内での教育活動だけでは十分ではありません。保護者の方が、お子様がこれまでに進路についてどのような認識をもっているのか、その内容や状況について関心をもつことが大切です。このことによって、お子様への進路に対する助言がより確かなものになります。ぜひ、保護者として、また社会人として、豊かな人生経験や考え方を子供たちのために役立てていただきたいと思います。令和2年4月から、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、自身の変容や成長を自己評価できるように工夫された「キャリア・パスポート」の作成と活用が始まりました。気付いたことや考えたことを書き留めるだけでなく、それを基に、教師と対話をしたり、生徒同士の話し合いを行ったりすることを通して、自分自身のよさ、興味・関心など、多角的・多面的に自己理解を深めることになります。お子様が「キャリア・パスポート」を持ち帰った際には、それを基に話し合ったり、お子様が頑張っていたりするような励ましのコメントの記入をお願いします。

